能登香の里
あわい村
No. 99
発行
令和４年７月１４日
粟井地区自治振興協議会
事務所：福祉センター
７６－０３３４
AWAIMURA.COM

粟井地区社会福祉協議会

■第一回　見守り訪問　【七月十三日】

粟井福祉ボランティアの会会員が市指定のゴミ袋を持って、75歳以上の独居家庭24戸と、80歳以上の高齢者世帯10戸20人の「見守り訪問」を行いました。年2回実施の1回目です。

美作市社協が行っているおたがいさまネット事業の「見守り会議」開催と訪問員による「ふれあい訪問」は、粟井地区では現在0世帯です。市内でも減少しています。市社協では、今年度、おたがいさまネット事業の検証と見直しを行います。さらに市社協が包括を受託したことで、「美作市総合相談支援センター」でさまざまな困り事に一箇所で対応できるようになりました。（重層的支援体制整備事業）

校舎運営委員会　【七月　一日】

美作市より江見政策審議監、春名総務部長、近藤管財課課長、栃岡支所長、香山担当を招いて、粟井小学校を昨年度制定された条例第3号の集会施設に移行するかどうかの協議を開始しました。移行した場合のメリットは必要経費を市がみることです。デメリットは、地区で管理すると言うことです。協議は始まったばかりで課題もたくさん見えてきました。粟井地区は独自の方法を取ってきたのでなかなか適合しにくい点もあります。次回は八月下旬の予定です。各区長まで意見をお寄せ下さい。

サル追い払い花火取り扱い講習会【六月三十日】

美作市森林政策課主催で、サル追い払い花火講習会がバレンタインプラザで開催されました。煙火消費保安手帳を持った各区2名の担当者が参加しました。サルが出没した場合は、各区2名の指定された者が、花火で追い払います。連絡して下さい。

美作市エゴマ生産部会　【六月二十七日】

■若桜町に視察研修

「若桜のえごま油」は、鳥取県若桜町で、えごまの栽培から収穫、搾油まで一貫して生産・加工している純国産品です。保存料や着色料など一切使用していない、安心・安全なこだわりの油です。……

部員15名と美作市の農業政策課の職員1名、計16名で若桜町のエゴマ生産組合に視察研修に行きました。搾油所は、洗い場、乾燥室、保存室、ビンの煮沸消毒と搾油場がそれぞれ作られており、搾油も専属の担当者が一度に6kg搾れる機会で絞っています。生産者は、1kg1300円と町からの補助800円、計2100円を受け取る仕組みです。販売価格も私たちの約3倍です。栽培方法もポット苗を移植機で移植するというやり方です。かなりの額が投資されていました。

能登香の里小房草刈り&道修理【七月　二日】

能登香の里小房運営委員会の役員10名で、能登香の家周辺や道路、キャンプ場周辺の草刈りをしました。九月には粟井地区の方（今年は小房、梶原、小野）で環境整備をして頂きますが、毎年数回は役員で草刈りをしないと追いつきません。今回は、たわだ池周遊道路のわだちも重機で直し採石を引きました。安東寿夫村創りの会会長が重機で行いました。

上流から環境問題を考える

作東公民館　作東愛寿大学合同講座【六月十六日】

■講座「上流から環境を考える」
山陽新聞論説主幹　岡山一郎

県南の河口付近に堆積したプラゴミの写真を見ながら、現況について説明を受けました。海に流れ出した物以外にも、たくさんのプラゴミが何層にも堆積している現況に愕然とさせられました。貝類には、衣類の洗濯から出た繊維が体内に蓄積しています。

■事例発表　肥料殻流出防止対策　下庄町　中嶋勝志

今使われている一発肥料、たいへん便利で農作業を軽減してくれますが、深水で代掻きを行うと昨年度までに使った肥料のプラ殻が川に流れ出してしまいます。プラ殻の使われていない肥料を使ったり、浅水での代掻き作業の実践を聞きました。環境に配慮した、循環型の農業が求められています。対応を協議していかなくてはなりません。

粟井地区村創りの会・農水部【六月十七日】

■畦畔の草刈り

農水部総勢11人3箇所の大きな法面の草刈りをしました。年間3回ほど行います。

■もち大豆の播種

約40アールにもち大豆を播種しました。後は、獣害対策が大事です。人里離れているのが難点です。

粟井地区社協に寄付を頂きました。

粟井中の**横林伴継様（亡　一夫）**より、粟井地区社会福祉協議会に多額の寄付を頂きました。ありがとうございました。粟井地区の福祉事業に大切に活用させて頂きます。

［編集後記］　世代交代を進める中、粟井小学校の利活用について転換期を迎えています。今までの構想がなかなか進まない中、持続可能な管理の仕方を模索しています。美作市も条例を制定して何とかしようとしています。今が知恵の出し所です。粟井地区民の「自分達の地域は自分達で守る。」という気概は失わず、上手に行政と連携していきたいものです。校舎利活用の意見を各区区長まで提案して下さい。みんなで考えていきましょう。